

動物公園日誌

日直 マツコ (アメリカビーバー)



アタシは、アメリカビーバーのマツコ。今年の1月に山梨県の甲府市遊亀公園附属動物園から引っこしてきた2才の女の子よ。末っ子になる予定でマツコ(末子)って名前になったんだけど、昨年、思いがけずお姉さんになっちゃったの。あっ、でも下の子のめんどろを良く見てるって、飼育員さんにほめられたわ。

アタシはいま、1才年上のオスのキンと、キンのお父さんのドンと、いっしょに暮らしているの。アタシたちアメリカビーバーは、木をたおしてダムをつくることで有名かもしれないけど、子育てにも持ちようがあるのよ。家族みんなが子育てに参加するのよ。キンとの子どもができたなら、アタシたち家族のにぎやかで楽しい子育てを、みんなにも見てもらいたいな♥

アタシたちは夕方から夜に活動するから、夕方にキンと二人で仲良く泳いでいる姿が見られるかも!

新しい生活に不満はないんだけど、実は一つなやみがあるのよね。アタシは気が小さい性格なのに、キンやドンより体が大きい…。そう、つまりデラックスなマツコってこと…。

ん?アタシ何か変なこと言ったかしら??

園動物公園 ☎252-1111 FAX255-7116



学芸員が選ぶ

今月のイッピン

石川豊信《提灯と傘を持つ佐野川市松》 幅広柱絵判紅絵

メアリー・エインズワース(1867-1950)はアメリカの女性で、早くに浮世絵の収集を始めたコレクターの一人です。この作品は、1906年に彼女が日本を旅行した際、初めて購入した作品だと伝えられています。延享・寛延期(1744-51)頃の作品で、墨摺の版画に筆で彩色をした初期浮世絵の名品の一つです。浮世絵収集家の中でも、最初に初期浮世絵からコレクションを始めるのは珍しいことです。急速に西洋化する近代日本を旅したメアリーでしたが、優美で素朴な魅力があるこの版画に、彼女にとっての理想の日本、江戸の面影を見ていたのかもしれませんが。

佐野川市松(1722-62)は、当代一の若衆方で、大変人気がある歌舞伎役者でした。帯の石畳模様は、現在も市松模様と言いますよね。浮世絵は、江戸のアイドルのプロマイドの役割も果たしていたようです。



「メアリー・エインズワース浮世絵コレクション展」(~5月26日(日))にて展示中。ご覧ください!

田辺学芸員

市美術館 ☎221-2311 FAX221-2316

① 超高齢社会の味方
チイキホウカツケアダー-G

これは、高齢者が住み慣れた地域で心豊かにくらすよう、社会全体で支え合う長寿社会を目指して活躍するロボット(地域包括ケアシステム)の物語である。

最終話 ケアダー-Gよ永遠に

地域包括ケアシステムについて詳しくは、本紙2018年4月号【11~13面】をご覧ください。

園地域包括ケア推進課 ☎245-5267 FAX245-5293

② 超高齢社会がファンなの? ファンなの?

不安怪獣ファンギラスが出たぞ~逃げろ~

③ 我々にお任せあれ!

④ あっーい!

⑤ 隊員が足りなくて、ケアダー-Gがピンチなんです皆さんの力を貸してください!

⑥ みんなありがとう 支え合いチーム!

よーし、みんな 私たちにできることをやろう!

ギャー!

⑦ 地域包括ケアを担うのは特別な人だけではありません。高齢者も若者も、元気な人もそうでない人も、一人ひとりが自分にできることを実践し、すべての市民が担い手となることで、地域包括ケアシステムは完成するのです。

地域包括ケアの主役は皆さんです!力を合わせて、みんなで支え合う社会をつくっていきましょう!

…完